

プラスチックごみ問題

～石川県の取り組みから～



世界的な問題となっている海岸漂着物

海岸を埋めつくす大量の漂着物。その多くを占めるのがプラスチックごみです。近年世界的な問題となっている海洋プラスチックごみの削減は、今、私たちが取り組むべき重要な課題となっています。

また、地球温暖化対策においても、燃やすことで温室効果ガスを発生させるプラスチックごみを削減することは非常に大切です。

1 ごみ問題と温暖化対策

地球温暖化対策として、私たちができることのひとつがごみの削減です。ごみの削減は、製品の製造や運搬にかかるエネルギーと、処分するエネルギーの両方を減らすことになり、温室効果ガスの排出抑制につながります。特に、燃やすことで温室効果ガスを発生させるプラスチックごみを削減することは、大変重要です。

ペットボトルやレジ袋などのプラスチック製品は、生活のあらゆるところで使われています。これらのプラスチックが、路上に捨てられたり風に飛ばされたりして、河川などを通じて海に流れ込むと、海洋プラスチックごみが発生します。その量は世界全体で年間約800万トンともいわれ、ジャンボジェット機約5万機分の重量になります。

海洋プラスチックごみは海洋環境を汚染し、海の生きものの生態系にも影響を及ぼします。近年、こうしたプラスチックごみもたらす影響が、世界的な問題となっています。

2016年に開催された世界経済フォーラムの年次総会（通称「ダボス会議」）では、「2050年には海洋プラスチックごみの量が、魚の重量を上回る」との予測が示され、世界に衝撃を与えました。

世界の海洋プラスチック
ごみの量

年間約**800万トン**

ジャンボジェット機

5万機相当



② 日本におけるプラスチックごみの現状

日本国内では年間約900万トンのプラスチックごみが排出されています。その内訳は、レジ袋、ペットボトル、トレイ等の容器包装類がほぼ半数を占めています。

容器包装類以外では、携帯電話などの電子機器類が約20%、おもちゃなどの家庭用品が約8%、浴槽などの建材が約7%、その他自動車部品等で約18%となっています。

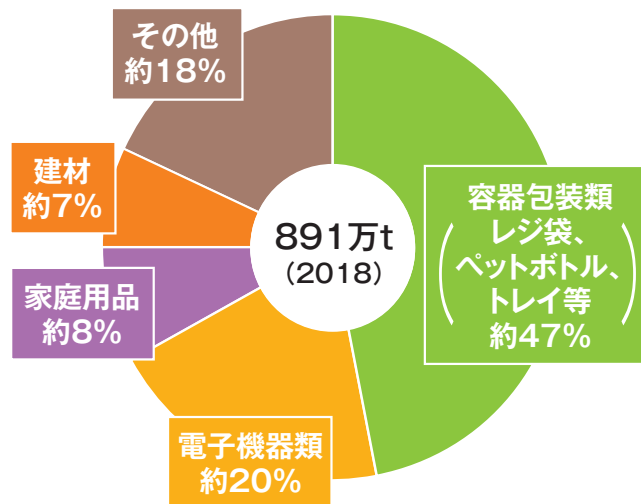
循環型社会の形成を推進するための法案「循環型社会形成推進基本法」が制定された2000年当時と比較すると、国内のプラスチックごみの年間排出量は約11%減少しています。また、2000年当時約46%だったプラスチックごみのリサイクル率は、84%まで向上しています。総じてプラスチックごみの排出量削減は進んでいるものの、2018年に発表された国連環境計画（UNEP）の報告書によれば、日本のプラスチック容器包装の一人当たりの廃棄量は、アメリカに次いで世界で2番目に多いとされています。

また、アジア各国がプラスチックごみの輸入規制を拡大したことから、国内処理の必要性が高まり、プラスチックごみのさらなる削減が求められることとなりました。

こうした中、国は、3R+Renewable（再生可能資源への代替）を基本原則としたプラスチックの資源循環を推進するため、2019年5月に「プラスチック資源循環戦略」を策定しました。この戦略の中で国は、海洋プラスチックごみ問題については「新たな汚染を生み出さないこと」が最も重要であるとして、使い捨てプラスチックの使用削減を重点戦略に掲げています。

その実効的な取り組みとして、2020年7月より、全国でレジ袋の有料化が義務付けられました。生活に身近なレジ袋を有料化することで、その必要性や環境問題について考える機会とし、使い捨てプラスチックに頼ったライフスタイルを見直すきっかけとする目的があります。

国内におけるプラスチックごみの内訳



出典：プラスチック循環利用協会

プラスチックごみ削減の啓発ポスター

石川県

Plastics Smart

「プラスチック・スマート」
プラスチックと賢く付き合っていく。
減らそうプラごみ。
リサイクルしよう資源。

あなたの毎日に、地球を想う心を**プラス**しよう!

- 1 マイバッグの持参**
ごみ自体を減らす取り組みも大切です。マイバッグやマイボトルの持参やプラスチック製ストロー・スプーンを使用しないなど、一人ひとりのちょっとした工夫が大きな力になります。
- 2 ごみの分別**
プラスチックごみの中には、もう一度資源となるものがたくさんあります。ペットボトルやプラスチック容器などは、きちんと分別をして指定された日に出しましょう。また、スーパーなどの回収BOXも活用しましょう。
- 3 清掃活動への参加**
捨てられたプラスチックごみは景観を損ねるだけでなく、海に流れ着いて海洋生物に大きな影響を及ぼします。町内会や各種団体が行うごみ拾い活動に参加してみましょう!

石川県生活環境部

Plastics Smart

県民の皆様は、プラスチックと賢く付き合っていく取り組みをお願いします。さらに広げていくため、「プラスチックと賢く付き合っていく」を推進しています。

レジ袋（プラスチック製買物袋）の有料化

Q どんな事業者が対象になるの？

A レジ袋を扱う小売業を営む全ての事業者です。製造業やサービス業などの業種でも、事業の一部として小売業を行う場合は対象になります。

Q 全てのレジ袋が有料化の対象になるの？

A 購入した商品を持ち運ぶために用いる、持ち手のついたプラ製の買物袋です。紙製や布製の袋、持ち手のない袋、環境性能が認められる袋^{*}は対象になりません。

※環境性能が認められ、その旨の表示がある袋



1 プラスチックのフィルムの厚さが50µm以上

繰り返し使用することが可能なため、レジ袋の過剰な使用抑制に寄与
【必要な表示】・フィルムの厚さが50µm以上 ・繰り返し使用を推奨



2 海洋生分解性プラスチックの配合率が100%

海洋で分解するプラであるため、海洋プラスチックごみ問題対策に寄与
【必要な表示】・海洋生分解性プラの配合率100% ・第三者による認定や認証



3 バイオマス素材の配合率25%以上

植物由来であるため、地球温暖化対策に寄与
【必要な表示】・バイオマス素材の配合率25%以上 ・第三者による認定や認証

Q レジ袋の値段は決まっているの？

A 全国一律の値段はなく、お店ごとに価格を設定すること(1円以上)になります。

3 石川県におけるレジ袋削減の取り組み

石川県では、長年、プラスチックごみの発生を抑制する取り組みを先駆的に進めてきました。

2007年度には、県内の食品スーパー等の小売事業者と「マイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」を結び、2009年度には、食品スーパーやクリーニング店においてレジ袋を一斉に有料化しました。

これにより、協定締結前（2006年度）は17%だったマイバッグ持参率が、有料化直後（2009年度）から2020年度まで90%程度で推移しています。また、これまでに削減されたレジ袋は、累計で約12億枚を超えるなど、着実な成果を上げています。

2020年7月に全国でレジ袋有料化が義務化された際にも、これまで多くの店舗で進めてきたレジ袋削減の取り組みにより、県内ではマイバッグを持って買い物に行くというスタイルがすでに浸透していたため、大きな混乱もなくスタートすることができました。

石川県では、今後も事業者等と連携し、レジ袋削減に向けた取り組みを行っていくこととしています。なお、レジ袋の販売による収益金については、環境保全活動に活用するため、(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議などに寄付されています。

登録店証ステッカー



レジ袋有料化による収益金を活用した農村・森林整備ボランティアの様子

コラム

クリーン・ビーチいしかわ

石川県の海岸線583kmをきれいにする海岸愛護運動が「クリーン・ビーチいしかわ」です。毎年春に行われる海岸清掃「春の統一デー」（県民一斉海岸清掃デー）をはじめ県内各地での海岸清掃と、ラジオ放送を通じた海岸清掃への呼びかけや啓発を主な活動とし、1995年にスタートして今年で26年を迎え、のべ260万人以上が参加しています。

2001年には石川県内の大学・短大・専門学校生による組織団体「学生クリーン・ビーチいしかわ」が発足し、毎年秋に「学生クリーン・ビーチいしかわ大作戦」と銘打った海岸清掃を実施しているほか、植林によって森と川と海の健全な関係を取り戻すことを目的とした植林活動「いしかわ漁民の森づくり」が行われるなど、石川の海岸をきれいにするための活動が広がりをみせています。



白山市徳光海岸



金沢市健民海浜公園前

4 プラスチックごみ削減に向けた新たな取り組み

レジ袋の削減については、小売事業者や県民の皆様のご理解ご協力を得ながら、長年取り組んできたことにより、消費者に環境問題解決への意識が広まってきた成功例といえます。

しかし、日々の暮らしの中では、総菜パックやストローなど、レジ袋以外の容器包装類にも多くのプラスチックが使用されています。こうした身近なところでも、同様の取り組みを進めていくことがプラスチックごみの削減には効果的と考えられます。

そこで、石川県では、プラスチックごみ対策をさらに一歩進めるため、レジ袋以外の使い捨てプラスチックの削減の取り組みを協定に盛り込むこととしました。協定名も「レジ袋等の使い捨てプラスチックの削減に関する協定」と改め、2021年1月26日に、新たな協定を締結しました。協定でレジ袋以外のプラスチックごみ対策を盛り込んでいる県は、石川県以外では山口県・徳島県のみで、全国に先駆けた取り組みとなります。また、レジ袋についても一層の削減を推進するため、国が有料化の対象外として認めている環境配慮型のレジ袋についても、例外なく有料化としました。

新たな協定には12業種1,080店舗という多数の事業者にご賛同いただき、業種の幅広さ・店舗数は協定を締結している15県中最多となっています。特に、レジ袋を多く使用するスーパーでは県内店舗の約7割、コンビニでは9割を超える店舗で、プラスチックごみ削減のための取り組みが実施されています。



2021年1月26日「レジ袋等の使い捨てプラスチックの削減に関する協定」締結式

「レジ袋等の使い捨てプラスチックの削減に関する協定」のポイント

●レジ袋の削減について

国が有料化の対象外としている環境性能が認められるレジ袋も、例外なく有料化

●レジ袋以外の使い捨てプラスチックの削減について

レジ袋以外の使い捨てプラスチックも、具体的な削減の取り組みを明記

〈事業者における取り組み例〉

〔スーパー、百貨店〕

プラ製の総菜パックから一部に紙を使用した袋への切り替え

〔スーパー、コンビニ、ドラッグストア〕
ストロー・スプーンの要否確認

〔コンビニ、飲食店（カフェ）〕

マイボトル持参者への飲料の割引制度
など

レジ袋等の使い捨てプラスチックの削減に関する協定締結事業者一覧

2021年1月現在

区分	事業者・団体名	参加店舗数
食品スーパー	アルビス(株)	19
	イオンリテール(株)北陸・信越カンパニー	9
	(有)犬丸屋	2
	(株)いろは〔いろはストア〕	1
	(株)大阪屋ショッブ	6
	(株)角田商店〔かくだストア〕	2
	(株)鍛冶商店〔カジマート〕	7
	生活協同組合コープいしかわ	2
	(株)サンライフ	3
	(株)ジャコム石川〔Aコープ〕	18
	(有)スーパーしんや	2
	(株)大丸〔DAIMARU〕	1
	ダイヤモンド商事(株)〔世界の食品ダイヤモンド〕	1
	(株)どんたく	13
	(株)ニュー三久	4
	(株)はまおかフードセンター	1
	(株)パローホールディングス	13

区分	事業者・団体名	参加店舗数
食品スーパー	(株)プラザダイヤス〔ダイヤス〕	1
	(株)平和堂	7
	マックスバリュ北陸(株)	7
	(株)マルエー	28
	(株)三崎ストアー	3
	ユニー(株)〔アビタ・ピアゴ〕	4
	輪島市商業(株)〔ファミ食品館〕	1
クリーニング店	(株)黒川クリーニング社	28
	(株)白整舎	17
	(株)松本日光舎	18
	(株)宮崎クリーニング社	5
	(株)ヤングドライ	71
ドラッグストア	(株)クスリのアオキ	78
	(株)コメヤ薬局	21
	(株)スギ薬局	17
	中部薬品(株)〔V-drug〕	17
コンビニ	(株)セブン・イレブン・ジャパン	139
	(株)ファミリーマート中部・北陸リージョン	247
	(株)ローソン	105
菓子・パン	(株)ニューフード産業北陸〔ミスタードーナツ〕	7
	(株)ぶどうの木	8
	ワイエー香林坊(株)〔ミスタードーナツ〕	8
飲食店	スターバックスコーヒージャパン(株)	12
	ダートコーヒー(株)	6
家電量販店	上新電機(株)北信越営業部〔ジョーシン〕	3
	(株)北越ケース〔ケースデンキ〕	8
百貨店	(株)金沢丸越百貨店〔金沢エムザ〕	1
	(株)大和	1
酒販	鳳珠小売酒販組合	46
書店・文具	石川県書店商業組合	44
ホームセンター	(株)ロッキー	6
花卉	(株)ジャパンフラワーコーポレーション〔花まつ〕	6
その他	金沢大学生生活協同組合	4
	富来町商業近代化協同組合	1
	まっとうまちなか協同組合	1
計		1,080

● 新たなプラスチックごみ対策について

県では、国内における年間の総廃棄量がレジ袋より多いプラスチック製の総菜パックを対象に、一部分を紙製にして啓発メッセージを盛り込んだり、飲料のストローを紙製に、マドラーを木製に変えるなどして、プラスチック使用量を減らすための取り組みを事業者の皆様とともに推進しています。

● 一人ひとりの行動がより重要に

プラスチックごみの削減には、私たちの日頃の行動の積み重ねが大きな成果につながります。マイボトルを持参する、プラスチック製のストローやスプーンを断るなど、一人ひとりができることにしっかりと取り組み、プラスチックごみ問題の解決に向けた気運を高めていくことが重要です。

一部に紙を使用した
総菜パック



総菜パックの
啓発メッセージ

